

第29回 みんなで語ろう！ ～いなむら市長とともに 車座集会～

<テーマ型：あなたの喫煙マナーは大丈夫？>

と き	平成29年10月26日（木） 午後6時30分～8時
と ころ	尼崎市すこやかプラザ ホール
参加者等	参加者 20人 市長ほか関係者 15人 合計 35人

1 車座集会の概要及び本日の進行スケジュールについて説明（職員）

2 市長からの説明

「あなたの喫煙マナーは大丈夫！ たばこを吸う人も吸わない人も一緒に考えてみませんか」の資料に基づいて説明。平成28年度に「たばこ対策宣言」を行い様々な取組を行っている。

- 1 禁煙の支援
- 2 受動喫煙の防止
- 3 煙草の健康調査に関する学習
- 4 歩きたばこ、路上喫煙の抑制

これらの取組を実施する中で、市民向けのアンケートや地域の見守り等の活動をしていただいている方々から、対策を推進する根拠となるルールを求める声があがっています。

また、他都市の取組状況をもみても、駅前などの誰もが使う場所とか人が集まる場所を一定喫煙禁止区域にして、所定の場所以外では喫煙しないでほしいというものが一般的になっています。

そこで、自治のまちづくりを進める本市の基本理念に基づき、市と市民の皆様や事業者の皆様と、相互に協力してたばこ対策に総合的に取り組むことで問題の解決に努め、健康で安全かつ安心に生活や事業を営み環境の実現を図ることを目的とし、「尼崎市たばこ対策推進条例」の制定に向けて検討を重ねていきます。

3 市民と市長との対話

本日は、たばこの販売店の方、煙草を吸われる方、吸わない方など様々な方が参加しておられますので、それぞれの立場で率直なご意見をお聞きしたいと思います。

・新しくできた総合医療病院へ行ったとき、建物敷地内が禁煙だからか周りの庄下川や溝がたばこの吸い殻で一杯だった。汚いし、煙も流れてくるし、喫煙場所を設置するなど対処してほしい。

⇒喫煙場所を設置する場合、いかにクリーンに保つかが課題。（誰が掃除するの？）

・たばこ屋をやっているが、売りっぱなしではなく、店頭で清掃活動をしたり、吸われる方へマナーの啓もう運動したり、周知している。喫煙者が年々減り、売り上げも減っているが、0になることはない。吸う人と吸わない人が共存できる条例を作っていないと吸う人が完全に排除される。

・煙草を売るときにマナーの悪い人には「吸うな、たばこをやめ！」と指導することもある。

⇒お店の方が自らマナーのことを愛煙家の方に注意していただくと有難い。共存するためにも喫煙場所を確保する代わりにマナーは守ってほしい。

・煙草は嗜好品だというのが、健康の問題からみると、吸う人も吸わない人もたばこによる被害を受けている。愛煙家、謙煙家じゃなく健康問題としてとらえるべき。

・喫煙者が減っているにもかかわらず、肺がん患者が増えている。因果関係がないという学者もいるが、統計学上多いと言われている。嗜好品だから禁煙がいいとは思いますが、35 億円もの税収がなくなれば尼崎市自体も困るのではないか。

・満員電車などで吸い終わってすぐに入ってこれると臭いが気になる。女性の香水などと同じかもしれないが、駅前に喫煙所を設けると吸ってすぐに乗る人が増えるのではないか。

⇒乗る前はそうかもしれないが、電車や駅のホームで吸えない方が我慢していて電車から降りてやっと吸えると思い、駅前で吸う人が多いので、喫煙所があればいいとも思う。

・昔は電車でも駅でも吸っていたが、電車の中がだめになり、次にホームが禁煙、で、降りてすぐに吸う人が増えた。時代の流れ・・・という吸う人を一概に責めにくい。

・学校で話しているのは、肺がんになるのは嫌だなあ。子どもに影響が出るのも嫌だなあ。

・昔は喫煙率 70%ぐらいで、ほぼお父さん世代は吸っていた。「煙草の臭い＝お父さんの臭い」その中で大きくなり、80 歳まで寿命が延びている。今でも吸っている。

・肺がんになるというのは厚生労働省のデータ。本当にたばこが原因で肺がんが発生しているかどうかはわからない。

・海外では中は禁煙、外は自由でOK。日本は、元々「歩きたばこが子どもの目線になって危ない！」から始まったので、外で吸うのはだめ。その後、海外からの流れで建物内はだめ！となった。そこで、日本では外でも中でもだめ、自分の家か車の中。でも家の中も家族の反対でベランダ・・・と変化。だからこそ、室内でも屋外でも吸える場所を確保して行かないと！

それがだめなら販売をやめないといけなくなる。

・喫煙者も非喫煙者も自分のことしか考えていない人が多い。自分の言い分だけ主張するのでは何も解決できない。

・吸う人のマナーが悪いとたばこはだめ、となる。最近流行りの電子たばこは、煙と関係ないから大丈夫、火も使ってないから歩きたばこもいいんじゃないかという人がいる。

⇒喫煙OKの場所で電子たばこ、最上級の愛煙家ですね。

敷地内が全面禁煙だとその周りがえらいことになっている。他都市の状況をみても、一定のエリアを禁止にして、マナーが大事だねという空気を作っていくことが必要だとわかる。

・塚口駅からすぐのたばこ屋さんの店先に灰皿が置いてありたばこを吸う人が多い。改札口からすぐなので多くの人を通るから煙が気になる。そんな狭いところでやめていただけないか。

⇒これは、喫煙場所を確保できない場所で、たばこ屋さんをお願いして、ポイ捨て防止、歩きたばこをなくすために協力してもらっている。一定の成果も出ていることを理解してほしい。

・国鉄の借金をたばこを吸っている人で支払っていることを知らない人が多い。JR の社員も関係ないという。それがあから、政府もたばこを廃止にはしない。一方で健康問題もいう。おかしい！

たばこをなくせば、その借金は国民みんなの借金だから税金が上がるかも・・・今まで 64.5 年払ったがまだ 70 年ぐらいかかる。

・昔からたばこは嗜好品。体調が悪い時は吸っても美味しくないので、健康のバロメーターであり、ストレスやイライラ感が解消されたり自分の充実感がある。あくまでも吸わない方への配慮をしながら吸っています。お互いマナーを守って。

⇒因果関係が明確に検証されたわけではないが、尼崎市は喫煙率がやや高めのみちであり、がんの発生率も低くない状況。健康増進を進めるにあたり、吸ってない人が吸わないように、やめたいと

決意した人がやめやすいように計画しており、お互い共存できるまちづくりを目指している。

具体的に禁煙エリアを決めるのか、路上喫煙を全市全面禁止にするのか、罰には過料を科すのか、どれにどれだけの経費がかかるか、色々な論点がある。健康被害を懸念する声もあるし、愛煙家の皆さんにこれだけは守らなあかんあと思ってもらえるルール作りをしていきたい。

⇒市役所では、勤務時間内禁煙という取り組みを実施中。休み時間は吸ってもいいけど、勤務時間中はダメ。トイレへ行ったり缶コーヒーを飲むのはいいけど、たばこはダメ。

いろんな意見があるが、吸えないストレスからか禁煙相談が増えている。今まで吸えていたのに吸えないというストレス、いっそのこと禁煙しようかという人も増えている。こういう取り組みで喫煙率が下がると、販売員の皆さまにとってはいろんな意見があると思うが、結果的にはそうなっている。

・喫煙スポットを作るのは有効かもしれないが、そこで吸う人はしれてるんですよ、お金の無駄遣いだと思う。いずれ吸う人がいなくなったら取り壊さないといけないし、むしろ意識を変える教育が大事だと思う。「ここで吸ってもいい」、「ここで吸ってはいけない」というルールを守る、というような教育にお金を使ってほしい。

・昔は「これが正しい」というのがあればこうあるべきで育っている。今は、多様性であらゆるところのあらゆるものがいろんな意見を持っていて一つのこと集中できるなんてありえない。だから行政も声の大きい方にいかざるを得ない状況、これが民主主義ではないか。

⇒私は極力ベターな政策をしたい。自分がベターだと思ったことは責任を持ってやりきりたいという思いで仕事している。その時に、往々にして、持っている情報が違う、誤解がいっぱいあると感じる。いろんな意見を聞いたら気づきがある。こういうやり方が民主主義だと思う。

本日はたくさんのご意見や提案をいただきありがとうございました。

条例制定に向けて、これからも様々な方がたのご意見を聞き、みんなが守れるルール作りをしたいと思しますので、引き続き皆さまのご協力をお願いします。

本日はありがとうございました。

以 上